

曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略
に係る検証について

(令和5年度分)

曾於市地域創生推進本部

(事務局：企画政策課)

◆ 報告日 令和6年9月18日（水）

～1 地方における安定した雇用を創出する～

○ 企業誘致について

現在、IT業界で多いのがデータセンターの設置で、企業にとっても地方でも採算が取れる事業なので、誘致を検討してはどうか。

○ 廃校舎を活用したレンタルオフィスの設置，入居者数について

コロナ禍を経て、完全テレワークを行う方が多いと聞いている。テレワークのお試し体験として、1～2週間の田舎暮らし体験と組み合わせて行うのは面白いと思う。

○ 市内高校生の市内就職率について

曾於高校の生徒への銀行見学会を実施したところ、「地域に密着したイメージがあり、ここで働きたい」との声が多く聞かれた。銀行では、高卒採用を積極的に行っており、市内の中高生への広報活動を一層強化していただきたい。

現在実施されている曾於高校生の企業見学会に、農業法人を加えてほしい。

インターンシップについては、学科ごとに受け入れ時期が限定されている現状を踏まえ、通年での受け入れを可能とし、企業の都合に合わせた柔軟な実施を検討していただきたい。また、インターンシップ期間を3日から5日程度に延長することで、より実践的な経験を積めるよう、行政による経費支援を検討していただきたい。

～2 地方への新しい人の流れをつくる～

○ 移住支援金について

都城市では、中心地域と中山間地域で金額に差をつけている。曾於市でも、可能であれば検討してみてはどうか。

○ 定住促進対策について

各種制度について、どんなに良い制度であっても、市内外に知られていないと利用されないため、広報に力を入れてほしい。

市外に転出した学生たちに戻ってきてもらうための施策として、奨学金の返還支援に関する取り組みを検討していただきたい。

○ 特色ある観光事業について

観光客数を増やす手段として、SNSで情報発信をすることが有効な集客手段となっている。他の市では、イベント検索をするとその市に関するイベント情報や祭りを表示させるサイトがあると聞いた。それほど高くない経費で導入できると思うので、デジタル推進の方で導入の検討をしていただければありがたい。そのことが観光客数の増加につながると考えられるので、検討をお願いしたい。

○ 県外からの市ホームページアクセス件数について

ホームページへのアクセスが日本以外の国からあったという記載があるが、これが結構危険で、海外のサーバーを経由して攻撃を仕掛けている可能性もあるため、対策をしっかりと行う必要があると思う。また、アクセス数を KPI に設定しているが、例えば資料をダウンロードしたり、特定のサイトに飛んだりするなどの目的を達成したかどうかを Google アナリティクスで確認でき、そういった点を見ながらホームページを改善していくと良いのではないかな。

～3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

○ 恋活支援事業について

婚活について、アンケートでフリータイムの時間が短いというのがあるが、1回の開催だと、緊張して話せないこともあると思うので、同じメンバーで3回開催すると気軽に話せるようになるかと思う。

○ 地域子育て支援体制事業について

他の市では子育て支援アプリを導入しているところもあり、これがあれば職員の負担を減らすことができ、どのくらい閲覧されているかも分かる。また、検診の予約などもアプリから行えば職員の負担が減るのではないかな。子育てをしているとそういったものは結構面倒なので、検討してほしい。

さらに、子育て支援センターのキッズルームの利用時間がいつ空いているか分かりにくく、行ってみると、閉まっている、教室をしているから利用できないなどの状況がある。もう少し時間を延ばす、あるいは親が見ていれば自由に使っていいといった風にしてもらえると、地元の子育て世代が喜ぶのではないかな。

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 1 地方における安定した雇用を創出する

(数値目標)
市内事業所従業者数(経済センサス)
12,203人(H28)→12,500人(R6)

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査（R5年度）	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
01起業・創業促進事業	新規起業家数 年間13人(H30年度)→年間10人 ～～～総合戦略記載 P29、30～～～	11人	【振り返り】 令和4年度の実績9人に対し、令和5年度は11人で前年を上回る結果となった。 【今後の課題・取組等】 昨今の社会情勢の変化による影響が懸念されたが、11人の起業者があった。起業時にこの制度を知らない事業者もいるため、制度の周知が必要と考える。また、補助を行った事業者の経営状況等、認定後の動向確認を行っていく。	A	商工観光課 商工振興係
	廃校舎を活用したレンタルオフィスの設置、入居者数 1件(H30年度)→累計5件 ～～～総合戦略記載 P30～～～	0件	【振り返り】 令和5年度は継続した入居はなかった（南九州獣医学拠点施設に令和6年4月のレンタルオフィス設置に向け、2社が準備を行っているが、実績としていない）。 【今後の課題・取組等】 レンタルオフィスだけでなく、シェアオフィスやテレワークの需要が高まっている。多様な働き方に対応できるようにレンタルオフィスに限らず、幅広い利用を検討、環境の整備を行う必要があると考える。	E	企画政策課 企業政策係
	チャレンジショップの設置、活用支援 0件(H30年度)→累計3件 ～～～総合戦略記載 P30～～～	0件	【振り返り】 チャレンジショップの設置について、調査研究中を行っている。 【今後の課題・取組等】 各種イベント等で出店が可能な移動式ワゴンショップの導入を検討し、市内事業者へ貸し出しを行い、チャレンジショップとして活用する。	E	企画政策課 企業政策係
02新商品の開発支援、販路開拓事業	新商品の開発 1件(H30年度)→累計4件 ～～～総合戦略記載 P32、33～～～	4件	【振り返り】 令和5年度末までに4品の新商品開発があった。 【今後の課題・取組等】 今後も新商品開発に取り組んでいく。	A	農政課 営農推進係
	商談会販路開拓 年間1件(H30年度)→年間2件 ～～～総合戦略記載 P33～～～	3件	【振り返り】 商談会などが開催され、新たに3件の販路開拓に成功した。 【今後の課題・取組等】 今後も推進に取り組んでいく。	A	農政課 営農推進係
	思いやり寄付金返礼品 235品目(H31年度)→250品目 ～～～総合戦略記載 P33～～～	372品目	【振り返り】 令和5年度においては、出荷可能返礼品が372品目となり目標を大きく上回る結果となった。 【今後の課題・取組等】 今後においても、多様化する寄附者のニーズに応えるため、委託事業者との連携を密にしながら、魅力ある新規返礼品の開発を提案し、意欲的な事業展開を行ってきたい。	A	商工観光課 商工振興係
	産地育成 加工・業務用生産者数1部会10人(H30年度)→5部会30人 ～～～総合戦略記載 P33～～～	6部会 18人	【振り返り】 既存組織の取組みについて推進等を行った結果、部会数を増やすことができたが、会員数は減少し目標未達成となった。 【今後の課題・取組等】 今後も推進に取り組んでいく。	C	農政課 営農推進係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 1 地方における安定した雇用を創出する		(数値目標) 市内事業所従業者数（経済センサス） 12,203人(H28)→12,500人(R6)			
具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査（R5年度）	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
03企業誘致推進事業	新規事業所等の立地または市内企業とのビジネスマッチング 累計5件（H27～H30年度） →累計10件（R2～R6年度） ～～～総合戦略記載 P35～～～	26件 （立地協定8件・ビジネスマッチング18件）	【振り返り】 市内立地企業との立地協定（増設）が2件あった。また、特産品売り込み等のビジネスマッチングは3件あった。 【今後の課題・取組等】 市内への新規企業の進出に繋がるよう、ターゲット企業を近隣県に絞って重点的に訪問を行う。また、IT系事務職につなげるため、訪問等で情報収集を行い効果的な対策を検討する必要があると考える。	A	企画政策課 企業政策係
04若者就労支援事業	市内高校生の市内就職率 26%（H30年度）→30% ～～～総合戦略記載 P38～～～	23%	【振り返り】 曾於高等学校2年生向けの企業説明会や職場見学会を行う等、市内企業の認知度向上、魅力発信に努めた。 【今後の課題・取組等】 市内企業への就職率向上を目指し、地元高校生へのアピールやリターン者への市内企業の紹介など、高校・その他関係機関との連携を強化し充実させていく。	D	企画政策課 企業政策係
05農畜林業の担い手確保、育成支援事業	新規就農者数 年間16人（H30年度）→累計70人（R2～R6年度） ～～～総合戦略記載 P42.43～～～	43人 （新規14人・後継29人）	【振り返り】 地域の活性化、農林業の確立のため、農林業就農者育成と担い手の確保及び推進を図った。 【今後の課題・取組等】 新規就農者の定着を図るため、支援対象者を把握し、関係機関が連携して具体的な支援（情報提供・巡回指導等）を行う。	C	農政課 農政係
	新規就農支援 新規就農相談会参加者年間8人（H30年度） →10人 ～～～総合戦略記載 P43～～～	11人	【振り返り】 就農相談を随時実施し、本人が望む経営体系や目標に対する指導・助言を実施し、市単事業対象者が3人、新たに農業を開始した。 【今後の課題・取組等】 農業に関する知識や目標、資金面で就農に結びつかない方がいるため、現状にあった指導（就学・研修・融資）が必要。	A	農政課 農政係
	ヤングファーマーズ 会員数18名（R元年度）→25名 ～～～総合戦略記載 P43～～～	26名	【振り返り】 4年ぶりの市民祭で出店し、PRすることができた。会員は1名の増となった。 【今後の課題・取組等】 活動を実施し、広報・周知に努める。	A	農政課 農政係
	ウーマンファーマーズ 会員数12名（R元年度）→20名 ～～～総合戦略記載 P43～～～	15名	【振り返り】 農業に携わる若手女性の農業経営への積極的な参画と地域農業を支える女性リーダーの育成を図った。また、会員を増やすためSNSを活用し、広報を実施した。 【今後の課題・取組等】 クラブ員の活動は活発に行われているものの、会員数がなかなか増えない。女性新規就農者への周知を行う。	C	農政課 農政係
	外国人労働者の語学学習・相互理解促進 0回（R元年度）→年6回 ～～～総合戦略記載 P43～～～	0回	【振り返り】 指導者の確保が難しく、また外国人労働者の職場環境がそれぞれ異なるため時間帯を含め調整が難しかった。 【今後の課題・取組等】 状況をみて再度検討する。	E	農政課 農政係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 2 地方への新しい人の流れをつくる		(数値目標) 転入者数 年間937人 (H27～H30平均) →年間1,000人 (R5～R6平均)			
具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査 (R5年度)	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
01定住対策促進事業	★市外からの転入者数 年間937人 (H27～H30年度平均) →年間1,000人 (R5～R6年度平均) ～～～総合戦略記載 P44、47～～～	994人	【振り返り】 定住促進を図るため、住宅取得祝金を拡大し、転入、定住の促進を図った。東京、大阪で開催された移住相談会にも参加し、曾於市のPRを行った。 【今後の課題・取組等】 高額な支援金等で人を呼び込むのではなく、曾於市に住みたいと思える施策を展開していき、定住促進を図っていく。	B	企画政策課 定住推進係
	★宅地分譲整備事業 0箇所→2箇所 ～～～総合戦略記載 P48～～～	1箇所	【振り返り】 新たな分譲地候補地を買収し、準備を進めていたが、街づくりの観点から、延期となった。 【今後の課題・取組等】 分譲候補地の場所について、分譲を行った場所が、今後街づくりの拠点となりえる場所なのかを、十分に考慮して上で選定していく必要がある。	C	企画政策課 定住推進係
	★空き家バンク制度 登録件数 累計28件 (H30年度) →累計50件 ～～～総合戦略記載 P48～～～	86件	【振り返り】 空き家バンク制度のチラシを固定資産税の納付書(約22,000通)へ同封し周知を図った。また、市報への掲載も行った。 【今後の課題・取組等】 空き家バンク制度で購入、制度改正を行い1年間実施してみて、要綱改正するべき点を早急に行いたい。	A	まちづくり推進課 住まい政策係
	★移住支援交付金事業 0世帯→累計6世帯 ～～～総合戦略記載 P48～～～	1世帯	【振り返り】 かごしま移住就業・起業支援事業として県で取組んでおり、県全体でPRを図った。 【今後の課題・取組等】 制度内容の周知をするとともに、移住相談会等でPRを推進していく。	D	企画政策課 定住推進係
	★田舎暮らし農業体験事業 年間12組 (H30年度) →年間30組 ～～～総合戦略記載 P48～～～	7世帯	【振り返り】 都市部 (関東・関西) からの子育て世帯が参加しており、子育て支援施設や小学校等の見学、農業体験、観光地巡りを行い、実際に移住に繋がるような体験や曾於市のPRに繋がった。 【今後の課題・取組等】 今後は実際に移住に繋がるように、曾於市にいる移住者との対談、農業体験プログラムなどの体験メニューの拡充や、移住相談会でのPRなど、更なる内容の検討を進める。	D	企画政策課 定住推進係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 2 地方への新しい人の流れをつくる

(数値目標)
 転入者数 年間937人 (H27~H30平均)
 →年間1,000人 (R5~R6平均)

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために 設定する指標	KPI中間 調査 (R5 年度)	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
02特色ある観光事業	★本市を訪れる観光入込客数 144万人 (H30年度)→180万人 ~~~~総合戦略記載 P50~~~~	1,133,809 人	【振り返り】 （一社）曾於市観光協会を中心に、観光列車「36 ぶらす3」や「たからべを遊びつくsoo in大川原」 「うまS00!グランプリ」等、イベントを行った。 国の天然記念物に指定された溝ノ口洞穴の周辺整備 として、駐車場の整備を行い来場者への利便性向上に 努めた。 おおすみ未来会議と共同でアンケート調査を行い、 積極的に曾於市のPRを行った。 各種イベントが再開となったが、目標値の観光入込 客数とはならなかった。 【今後の課題・取組等】 県内・外の観光客向けにSNS等で積極的にPRし、関 東・関西の郷土会においても曾於市観光協会と一体と なって曾於市のPRを行っていく。	C	商工観光課 観光振興係
03曾於市の魅力・ 情報発信PR事業	★県外からの市ホームページアクセス件数 323,000件 (H30年度)→500,000件 ~~~~総合戦略記載 P53,54~~~~	1,478,983 件	【振り返り】 市の入札や契約に関するページへのアクセスや感染 症対策へのページ観光・イベントに関するページへの アクセス件数が多かった。日本以外の国からもアクセ スがあった。 【今後の課題・取組等】 市民のくらしに関わるページ、イベントなどのペー ジはアクセスがあるので、それ以外の市からの情報提 供のページについて、訪問されるように土・日曜日の アクセス数が低い傾向にあった。現在は行っていない 土・日曜日のSNS発信を行い、発信時にURLを掲載し、 ホームページに誘導することで、よりアクセス数が増 えるのではないかと考えられる。	A	総務課 秘書広報係
	★SNS・ウェブサイトの活用事業 掲載 件数 年間0件→50件 ~~~~総合戦略記載 P54~~~~	436件	【振り返り】 市のイベント情報・募集情報や避難所情報等の災害 関連に加え、市報の表紙や花の開花状況等の情報を各 SNSにそれぞれ積極的に発信したことにより掲載件数 が増えた。 【今後の課題・取組等】 フォロー数や登録者数の増加が少ないため、登録者 数を増やすための魅力ある情報発信方法を検討する必 要がある。	A	総務課 秘書広報係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（数値目標）
・子育てしやすい環境だと感じる割合
79.0%（R元）→90.0%（R6）

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査（R5年度）	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
01 婚活支援事業	★婚姻届提出数 年間135件（H30年度）→150件 ～～～総合戦略記載 P59～～～	82世帯	【振り返り】 今年度は3回の婚活イベントを実施することができた。 【今後の課題・取組等】 婚活イベントを実施しているが、婚姻件数が伸びていない現状を踏まえ、他の方法で、件数を増やす施策を検討していく時期に来ていると思われる。	C	企画政策課 定住推進係
	★当該事業によって生まれたカップル数 年間59組→80組 ～～～総合戦略記載 P59～～～	12組	【振り返り】 イベントを3回実施し、参加者からも一定の評価を得られた。また、参加者は市外からの参加が多く、曾於市のPR効果にも繋がった。 【今後の課題・取組等】 アンケートでは、フリータイム等の時間が短い、どうしたらいいか困った等の意見があったため、時間や内容を工夫し、さらに楽しめる仕組みを用意する。	D	企画政策課 定住推進係
	★婚活セミナー・ワークショップの開催参加者 年間42名（H30年度）→80名 ～～～総合戦略記載 P59～～～	77名	【振り返り】 イベントを3回実施し、応募者もある程度集まった。 【今後の課題・取組等】 今後は、参加者を増加するため、SNS等を活用し、積極的に広報していく。	B	企画政策課 定住推進係
02 子育て世代経済支援事業	★総出生数における多子（第2子以降）の割合 66%（H30年度）→70% ～～～総合戦略記載 P61～～～	63%	【振り返り】 総出生数160名に対し多子（第2子以降）の出生数は100名であり昨年度より出生数・多子の割合は微増となったが目標には達しなかった。 【今後の課題・取組等】 令和6年度からの出産祝い金支給事業の拡充、高校3年生相当時までの医療費の無料化、伴走型相談支援等を通じて、子育て世帯に対し子育てしやすい環境づくりを行う。また総出生数が増えるよう、各課と協力して効果的な事業を検討していきたい。	B	子ども未来課 子ども福祉係
	★出産祝い金支給事業 年間56件（H30年度）→60件 ～～～総合戦略記載 P62～～～	第1子・第2子 113件 第3子以降 55件	【振り返り】 昨年度と比較し支給件数は増となったが、目標には達しなかった。 【今後の課題・取組等】 第3子以降に10万円を支給、令和4年度からは第1子・第2子に1万円を支給していたが、令和6年度から5万円に増額する。今後も子育て家庭の状況等を把握するとともに、子育てしやすい町づくりのため、効果的な事業の検討していきたい。	B	子ども未来課 子ども福祉係
	★予防事業 接種率（H30年度） BCG 102.4%→100.0% MR 1期 99.5%→99.5% MR 2期 97.7%→98.0% ～～～総合戦略記載 P62～～～	BCG 95.6% MR 1期 93.0% MR 2期 96.6%	【振り返り】 BCGについては、接種期間の終了2か月前の未接種者に対し毎月ハガキで接種勧奨を実施。MR（麻疹・風疹ワクチン）1期については、母子健診時に未接種者への声かけ、さらに接種期間終了2か月前にハガキで接種勧奨を実施。2期については、年3回の文書による勧奨に加え、年度末に電話による勧奨を実施した。目標達成はできなかったが、BCGとMR 2期の接種率は前年度を上回った。 【今後の課題・取組等】 信条等により予防接種をしない選択をされる家庭以外は、感染症まん延防止の必要性を理解してもらい、母子相談・母子健診時に接種勧奨を積極的に行う。	B	子ども未来課 子育て応援係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(数値目標)
・子育てしやすい環境だと感じる割合
79.0% (R元) → 90.0% (R6)

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査 (R5年度)	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
03地域子育て支援体制事業	★子育て支援サイト「すまいるキッズ」アクセス数1,674件(月平均)(H30年度) → 1,800件 ~~~~総合戦略記載 P65,66~~~~	3,673件	【振り返り】 アクセス回数は、年々増加している。子育て支援センターの利用状況や行事の実施の有無を得る発信の場となった。 【今後の課題・取組等】 利用者のニーズに合った情報の充実・日頃の支援センターでの様子を伝えていくことで、気軽に利用できる雰囲気伝わるよう努める。これによりメール登録者数も増加すると考える。	A	子ども未来課 子育て支援センター係
	★子育て支援訪問ボランティア(ホームビジター)の養成 累計7人(H30年度) → 累計15人 ~~~~総合戦略記載 P66~~~~	20人	【振り返り】 R4年度に5人のホームビジターの養成を行い、累計20人となり、目標値を超えた。 【今後の課題・取組等】 子育てに不安を持つ家庭の養育環境や抱える問題が複雑化・重複化しており、専門的な知識が必要とされるケースが増えている。今後は、高い専門性を必要とするケースに対応できる新事業に取組むため、令和4年度で子育て支援訪問ボランティアの育成を終了した。	A	子ども未来課 子育て応援係
	★放課後児童支援員の養成 累計47人(H30年度) → 累計53件 ~~~~総合戦略記載 P66~~~~	96人	【振り返り】 H30より児童クラブの開設数が3カ所増え、それに伴い支援員も増えた。累計の資格取得人数が96人となり、目標を達成した。 【今後の課題・取組等】 支援員の年齢層が高い場合、安全確保の観点からもさらなる支援員の確保が必要と思われる。	A	子ども未来課 子育て保育係
	★一時預かり事業実施施設の拡充 全5カ所(H30年度) → 全8カ所 ~~~~総合戦略記載 P66~~~~	8カ所	【振り返り】 累計8カ所となり、目標を達成した。 【今後の課題・取組等】 子育て家庭の状況やニーズを把握し、今後も各施設へ働きかけを行い、継続的な事業実施を図ってきたい。	A	子ども未来課 子育て保育係
	★子育て支援センター利用者数増 利用者数 248人(保護者実人数)(H30年度) → 270人 ~~~~総合戦略記載 P66~~~~	300人 (保護者実人数)	【振り返り】 センター3カ所の利用者数はバラツキがあるが、利用者数・登録者数も増えてきている。 【今後の課題・取組等】 発達や育児不安に対して様々な情報により、さらに不安を持つ保護者に対し、寄り添いながら子育てへの自信が持てるよう傾聴を丁寧に行う必要がある。 R5より、一時預かりをより充実できるよう職員体制を増員することで、利用者の子育てへの不安を緩和し安心して、子育てのできる環境のひとつとなるよう努める。	A	子ども未来課 子育て支援センター
	★こんには赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業) 訪問実施率98.9%(H30年度) → 100% ~~~~総合戦略記載 P66~~~~	100.0%	【振り返り】 171人の対象者に対し、全員の訪問を実施。R5.3月から伴走型相談支援と出産・子育て応援給付金による経済的支援を一体的に実施したことで実施率100%を達成できている。 【今後の課題・取組等】 産後2カ月以内には訪問を実施し、専門的な助言と身近で気軽に相談できる場所や産後ケア・一時預かりなどの必要なサービスにつなぎ、全ての妊婦・子育て世帯が安心して子育てができるよう支援していく。	A	子ども未来課 子育て応援係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(数値目標) ・子育てしやすい環境だと感じる割合 79.0% (R元) → 90.0% (R6)		KPIとの比較	担当課
具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI) 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査 (R5年度)	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
04そおっ子の総合的な学習向上推進事業	★全国学力・学習状況調査の正答率 全国比98% (R元年度) → 100% ～～～総合戦略記載 P69～～～	小6 国語 95.2% 算数 91.2% 中3 国語 98.9% 数学 86.3% 英語 76.8%	【振り返り】 令和5年度に実施された調査では、小6、中3ともに全教科で全国平均を下回る結果となった。 【今後の課題・取組等】 本調査には、汎用的な能力に係る問題が多く含まれており、知識だけではなく、それらをどのように活用するかを中心とした授業を実践していく必要がある。教育センターにおいて「学習者主体の授業」に関する研究を深め、その成果を各校へ還元し、改善を図っていく。	B	学校教育課 学事係
	★標準学力検査の偏差値 平均49 (R元年度) → 平均50 ～～～総合戦略記載 P69～～～	小学校 48.7% 中学校 47.5%	【振り返り】 小・中学校ともに50を下回る結果となった。 【今後の課題・取組等】 市全体で評定1を示す児童が9%おり、この子どもたちも取り残さず、偏差値がより高い方へと移行させていく授業改善が必要である。 アンダーアチーバーが小学校17%、中学校18%という結果を踏まえ、学びについていけなかったり、学びへの興味を失ったりする児童生徒を減らせるよう、教育センターを中心に「個別最適な学び」や「共働的な学び」の学習者主体の授業の研究推進と成果還元を行う。	B	学校教育課 学事係
	★ミドルリーダー研修 (教職員の資質向上) 25人 (H30年度) → 50人 ～～～総合戦略記載 P69～～～	8人	【振り返り】 教職員の資質向上のため、ミドルリーダー (中堅教職員) 7名、指導主事11名が、神奈川県横須賀市・茅ヶ崎市へ、学びの共同体及びICT支援について学び、各学校への研修内容の周知及び授業への活用が図られた。 【今後の課題・取組等】 教育センターにおいてミドルリーダー (中堅教職員・研究員) 及び研究協力員を中心に、研修や検討会等を実施することで、教職員の資質向上を図り、各学校の授業改善に取り組む。	D	学校教育課 学事係
	★英語検定受験促進 (英語力の向上) 18.9% (H30年度) → 30% ～～～総合戦略記載 P69～～～	25%	【振り返り】 前年同様の25%となった。 【今後の課題・取組等】 管理職研修等で本市の実態を周知し、さらに英語検定の受験を促進する。	B	学校教育課 学事係
05男女共同参画推進事業	★男性の育児休業制度の取得率 (特定事業主行動計画に基づく) 0% (H30年度) → 3% ～～～総合戦略記載 P71～～～	9.1%	【振り返り】 法整備や職員の意識改革などにより、育児休業を取得しやすい職場環境になっていることから、仕事を続ける女性職員が増えている。今年度初めて男性職員が育児休業を取得した。 【今後の課題・取組等】 女性職員だけにかかわらず、男性職員への育児休業、育児休暇の取得へ向けた周知、周囲の職員の意識改革など、引き続き研修会等を行いワーク・ライフ・バランスの推進や、職場全体で休暇の取れる体制づくりを啓発する。	A	総務課 秘書広報係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

(数値目標)

・曾於市に対する評価（住みよさランキング）
全国759位/814団体（H30）→700位

【基本目標】 4 時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） 目標6年度	KPI中間調査（R5年度）	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
	※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標				
01小さな拠点(多世代交流・多機能型)の形成支援	<p>★地域交通利用者数 328,894人（H30年度）→327,000人</p> <p>~~~~総合戦略記載 P75~~~~</p>	251,942人	<p>【振り返り】 令和5年度は、前年に比べ利用者はほぼ横ばいだった。利用者は引続き、県域を跨いだ移動を自粛していると思われる。思いやりバス・タクシーの利用者数は微増しているが、コロナ前の利用者数にはほど遠い。一方、無料乗車券の利用者数は増加傾向であった。</p> <p>【今後の課題・取組等】 長引くコロナの影響により公共交通機関の利用者は回復の兆しがなく、人口減少の流れと共に、ますます利用者の減少が懸念される。持続可能な運行形態を模索するとともに、新たな利用者獲得の取組みを行っていく必要がある。</p>	B	企画政策課 政策調整係
	<p>★地域交通利用者数 地域間幹線バス 222,485人（H30年度）→222,000人</p> <p>~~~~総合戦略記載 P76~~~~</p>	168,301人	<p>【振り返り】 令和5年度は、前年度に比べ利用者は減少傾向にあり、新型コロナウイルスの影響で、利用者は、引続き県域を跨いだ移動を自粛していたと思われる。また、一度利用をしなくなった方が、利用を再開するか懸念される。</p> <p>【今後の課題・取組等】 長引くコロナの影響により公共交通機関の利用者は回復の兆しがなく、人口減少の流れと共に、ますます利用者の減少が懸念される。関係市と協議し、各路線の課題検討を行い、収支率や乗車密度の向上を図る必要がある。</p>	B	企画政策課 政策調整係
	<p>★地域交通利用者数 廃止代替バス 53,656人（H30年度）→53,000人</p> <p>~~~~総合戦略記載 P76~~~~</p>	37,029人	<p>【振り返り】 令和5年度は、ほぼ横ばいでありながら減少傾向にあり、コロナの影響で一度利用をしなくなった方が、利用を再開するか懸念される。</p> <p>【今後の課題・取組等】 長引くコロナの影響により公共交通機関の利用者は回復の兆しがなく、人口減少の流れと共に、ますます利用者の減少が懸念される。関係市と協議し、各路線の課題検討を行い、収支率や乗車密度の向上を図る必要がある。</p>	C	企画政策課 政策調整係
	<p>★地域交通利用者数 思いやりバス・タクシー 52,753人（H30年度）→52,000人</p> <p>~~~~総合戦略記載 P76~~~~</p>	46,612人	<p>【振り返り】 令和5年度利用者は、前年度に比べ利用者は減少している。令和4年度に交通施策に関わる課題の解決に向け、曾於市地域公共交通計画を策定したところではあるが、コロナ前の利用者数にはほど遠い。</p> <p>【今後の課題・取組等】 長引くコロナの影響により公共交通機関の利用者は回復の兆しがなく、人口減少の流れと共に、ますます利用者の減少が懸念される。持続可能な運行形態を模索するとともに、新たな利用者獲得の取組みを行っていく必要がある。</p>	B	企画政策課 政策調整係

◆曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る重要業績評価指標（KPI）の検証

【基本目標】		（数値目標） ・曾於市に対する評価（住みよさランキング） 全国759位/814団体（H30）→700位			
具体的な施策	重要業績評価指標（KPI） 目標6年度 ※KPI・施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標	KPI中間調査（R5年度）	【振り返り】 【今後の課題・取組等】	KPIとの比較	担当課
02地域コミュニティ支援事業	★地域コミュニティ協議会 0団体（R元年度）→24団体 ~~~~総合戦略記載 P79~~~~	5団体	【振り返り】 令和5年度は、コミュニティ活性化推進計画に基づき、第2次モデル地区（北部・大隅南校区公民館）は、地域コミュニティ協議会を設立した。 【今後の課題・取組等】 当事業は、コミュニティ活性化推進計画に基づき、令和2年度に第1次モデル地区を3か所指定し、令和3年度に第2次モデル地区を3か所指定するなど、計画どおりに進行している。 一方、この計画は、令和6年度までの内容であることから、地域コミュニティ活性化推進審議会を設置し、当計画の見直しを行う必要がある。	D	企画政策課 地域コミュニティ係
	★地域コミュニティ協議会設立準備委員会の設置 0団体→3団体 ~~~~総合戦略記載 P79~~~~	2団体	【振り返り】 令和5年度は、コミュニティ活性化推進計画に基づき、モデル地区以外の2地区（高岡・菅牟田）が地域コミュニティ協議会設立準備委員会を設立し、令和6年度の地域づくり計画策定に向け協議を重ねた。南部地区は、昨年引き続き協議を重ね、令和6年度当初までに地域コミュニティ協議会を設立し当計画を実施することとなった。 【今後の課題・取組等】 上記の内容と同様に、令和6年度にコミュニティ活性化推進計画の見直しを行うことを進めていくことが必要となる。	C	企画政策課 地域コミュニティ係
	★日本語れんしゅう会 年16回（H30年度）→16回 ~~~~総合戦略記載 P79~~~~	19回	【振り返り】 令和5年度は、県の事業を活用して在留外国人の方々が日本語を学ぶ機会や多文化理解の機会も増やすことができた。多文化共生についての理解する機会となつてると考えることができる。 【今後の課題・取組等】 在留外国人へのサポートの必要性は、年々高まっているため、他課や外部団体と連携し、引き続き日本語のサポートや日本文化等の理解を深める支援が引き続き必要である。	A	企画政策課 政策調整係
03公共施設の最適化事業	★未利用公共施設の有効活用 7か所（H30年度）→10か所 ~~~~総合戦略記載 P82~~~~	11か所	【振り返り】 3件の市有地、1件（2棟）の施設の売却を行いました。 なお、未利用施設の新たな貸付けはありませんでした。 【今後の課題・取組等】 未利用施設の有効活用については、市の財政的負担面からも重要であることから、これまで同様他の課（局）とも連携をとり、未利用施設の活用促進を図っていく。	A	財政課 施設整備係
05広域連携事業の推進	★市町間の新規連携事業数 -事業（R元年度）→累計5事業 ~~~~総合戦略記載 P84~~~~	5事業	【振り返り】 私の町・となりの町のいいところ探そうツアーでは、志布志市で座禅体験やサンフラワーの見学を行った。ICT推進事業では、研修会を2回実施。地域おこし協力隊連携促進事業で、ChatGPTを活用した勉強会を実施した。旅コン！圏域を巡るバスツアーin都市は神社参拝や絵付け体験を行った。また、新規事業である道の駅・物産館連携事業では各市町を周遊するデジタルスタンプラリーを行い、当選者26名に対し、応募者が計113名と好評の企画となった。 【今後の課題・取組等】 地域おこし協力隊連携事業は今年度に終了し、来年度より旅コン！圏域を巡るバスツアーに地域おこし協力隊を活用し直営で行う予定のため、内容を精査する必要がある。	A	企画政策課 定住推進係